



■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2008年11月12日から2027年11月10日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてアジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。
主要運用対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」およびわが国の証券投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券、短期社債等、コマーシャルペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。 ・留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

スパークス・アジア中東株式ファンド （資産成長型）

第16期 運用報告書（全体版）

（決算日 2024年11月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型）』は、このたび、第16期の決算を行いました。ここに第16期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話：03-6711-9200（代表）

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期(2020年11月10日)	27,973	0	1.9	1,440.0	13.4	0.0	94.6	27
13期(2021年11月10日)	34,843	0	24.6	1,672.6	16.2	0.0	72.6	49
14期(2022年11月10日)	31,251	0	△10.3	1,593.0	△4.8	0.0	93.8	47
15期(2023年11月10日)	35,133	0	12.4	1,802.5	13.1	0.0	102.2	44
16期(2024年11月11日)	40,699	0	15.8	2,287.9	26.9	0.0	92.7	50

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) MSCI AC Asia Pacific ex Japan Indexは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除くアジア太平洋地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia Pacific ex Japan Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

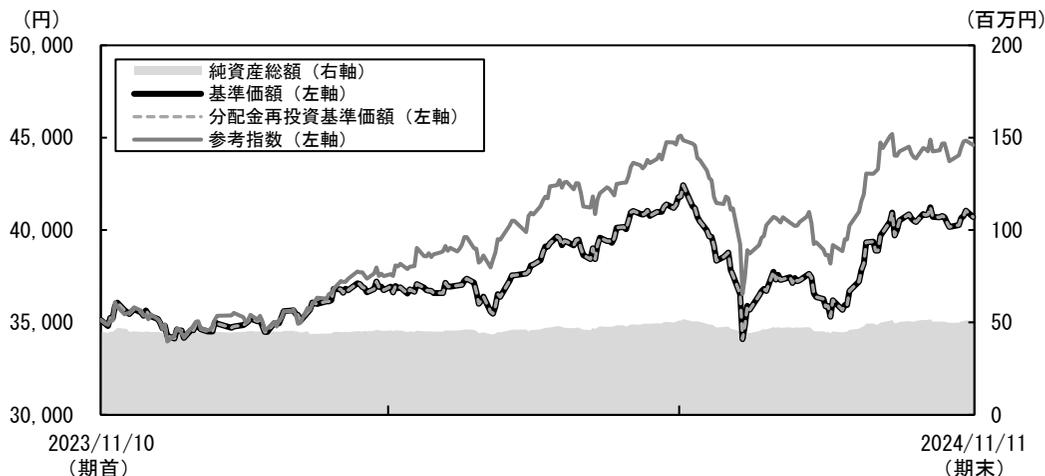
■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(期首) 2023年11月10日	円	%		%	%	%
11月末	35,133	—	1,802.5	—	0.0	102.2
12月末	35,450	0.9	1,804.1	0.1	0.0	89.2
2024年1月末	34,937	△0.6	1,814.1	0.6	0.0	88.0
2月末	35,455	0.9	1,817.0	0.8	0.0	89.0
3月末	36,849	4.9	1,925.3	6.8	0.0	92.2
4月末	36,590	4.1	1,984.6	10.1	0.0	92.5
5月末	37,242	6.0	2,064.1	14.5	0.0	92.9
6月末	38,638	10.0	2,117.5	17.5	0.0	95.7
7月末	40,764	16.0	2,237.8	24.2	0.0	95.0
8月末	38,780	10.4	2,140.3	18.7	0.0	92.9
9月末	37,284	6.1	2,074.4	15.1	0.0	90.2
10月末	39,363	12.0	2,207.9	22.5	0.0	91.6
(期末) 2024年11月11日	40,406	15.0	2,268.5	25.9	0.0	93.2
	40,699	15.8	2,287.9	26.9	0.0	92.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2023年11月11日～2024年11月11日)



第16期首 : 35,133 円

第16期末 : 40,699 円 (既払分配金0円)

騰落率 : 15.8% (分配金再投資ベース)

※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。

※ 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

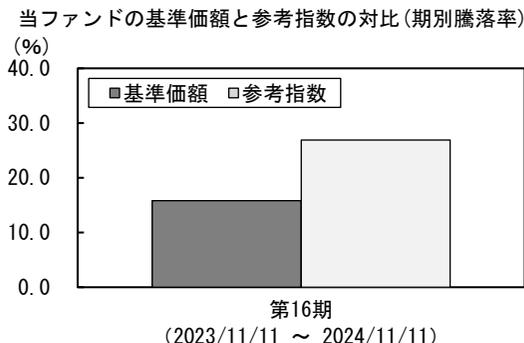
※ 参考指数は期首(2023年11月10日)の基準価額に合わせて指数化しております。

2) 基準価額の主な変動要因

台湾市場や香港市場、インド市場の上昇が基準価額の上昇要因となりました。一方、韓国市場の下落が基準価額の下落要因となりました。

3) ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

(アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式)

アジア株式市場は、米国が利下げに踏み切ったことなどにより堅調に推移しました。台湾で毎年開催されるCOMPUTEX TAIPEI(台北国際コンピュータ見本市)では、AI(人工知能)の能力が急速に向上し、速いペースで導入が進んでいることが明らかになりました。台湾市場のテクノロジーセクターは上昇基調が続きました。インド市場は、企業のファンダメンタルズの底堅さ、安定政権、長期的な構造的成長のポテンシャルが好材料とみなされて市場への資金流入が続きました。ASEAN各国市場は、国内経済の成長と「チャイナ・プラス・ワン(中国のみに工場を構えるリスクを回避するため、他のアジアの国に製造拠点を展開すること)」関連の投資に支えられ、底堅く推移しました。サウジアラビアとアラブ首長国連邦の市場は企業と消費者の需要がいずれも旺盛であることから堅調でした。

(国内債券・短期金融市場)

2016年2月より導入された「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」により国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなっていました。2024年3月よりマイナス金利が解除され利回りがプラスに転じました。しかし、量的緩和は継続されているため利回りは低い水準で推移しました。

■ ポートフォリオ

< スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型) >

「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券を主要投資対象とし、期を通じて「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」をおおむね高位に組入れることにより、主にアジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行うことを基本方針としております。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行いました。

< SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資しました。

(主なプラス要因)

当期のパフォーマンスに対してプラスに寄与した主な銘柄は、Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd(台湾/情報技術)、Lemon Tree Hotels Ltd(インド/一般消費財・サービス)、Saudi Awwal Bank(サウジアラビア/金融)、Advanced Info Service Pcl NVDR(タイ/コミュニケーション・サービス)などです。

半導体メーカーのTaiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltdは2023年の業績が予想を上回ったと発表し、2024年についても明るい見通しを示し、上昇しました。データセンター用AI(人工知能)半導体などの出荷増によって力強い成長が実現できると考えています。2023年は「ChatGPT」が話題となり、生成AI(人工知能)の用途が拡大しましたが、今後はデータセンターだけでなく、スマートフォンのようなエッジデバイスにも用途が広がっていくことになるでしょう。多くの大手テクノロジー企業がAI(人工知能)分野の開発にしのぎを削っている中で、同社はその最先端技術、生産能力、効率性の高さを生かして大きな市場シェアを獲得すると考えています。

ホテル運営会社であるLemon Tree Hotels Ltdは、コロナ禍後のインド国内観光の回復により客室稼働率と客室平均単価が急速に回復し、上昇しました。

銀行のSaudi Awwal Bankは世界的な投資家心理の改善に支えられ上昇しました。同社は引き続き優良法人向け融資に注力する一方、個人向け融資を選択的に拡大しています。同社は株式の31%をHSBC Holdingsが所有していることから、世界の銀行ネットワークと独自のつながりを有しています。サウジアラビアは今後も外国企業の誘致を続けていく予定であることから、同社は長期的にその恩恵を受けることになると考えています。

タイ最大級の通信サービスプロバイダーのAdvanced Info Service Pcl NVDRは、2024年上半期の営業キャッシュフローが大きく増加し上昇しました。収益力と成長力がともに高いことから、同社は競争の激しいタイの通信業界において継続的に成功を収める上で有利な立場にあります。配当利回りも高く、今後の利下げサイクルでますます魅力が増すと考えています。

(主なマイナス要因)

当期のパフォーマンスに対してマイナスに影響した主な銘柄は、AIA Group Ltd(香港/金融)、Telkom Indonesia Persero Tbk PT(インドネシア/コミュニケーション・サービス)、Samsung Electronics Co Ltd(韓国/情報技術)などです。

生命保険および金融サービス会社のAIA Group Ltdは下落しました。中国政府が金融緩和や景気刺激策などで政策的支援を行ったにもかかわらず、中国市場と香港市場に対する投資家心理が冷え込んでいたためです。しかし、2024年に入ったころからバリュエーションが割安で政策による支援が見込めるなどの理由から投資家の関心が再び両市場に向き始めています。

インドネシア最大級の通信事業者であるTelkom Indonesia Persero Tbk PTは下落しました。同社がセクター内における優位性と高い収益性を維持し、インドネシア社会のデジタル化とともに成長を続けていくという当ファンドの見方に変更はありません。

韓国市場では、堅調に推移していたテクノロジーセクターの上昇が一服し、バリュエーションの高さやAI(人工知能)の普及率を楽観視し過ぎていたことに対する懸念から、Samsung Electronics Co Ltdが下落しました。

< スパークス・マネー・マザーファンド >

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

< スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型) >

引き続き、「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券を投資対象とし、期を通じて「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」をおおむね高位に組入れることにより、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式(これに準ずるものを含みます。)に投資します。

< SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

引き続き、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

< スパークス・マネー・マザーファンド >

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当ファンドは中長期的な成長を図ることを目標として運用を行っていることから、分配金のお支払いは見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産内に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

[分配原資の内訳]

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項目	第16期 (2023年11月11日～ 2024年11月11日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— (—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	30,699

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「-」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	2023年11月11日～2024年11月11日		
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社)	356円 (71)	0.946% (0.189)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(販 売 会 社)	(270)	(0.717)	・ ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(受 託 会 社)	(15)	(0.040)	・ 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(b) そ の 他 費 用	41	0.109	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(41)	(0.109)	・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	397	1.055	
期中の平均基準価額は37,647円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

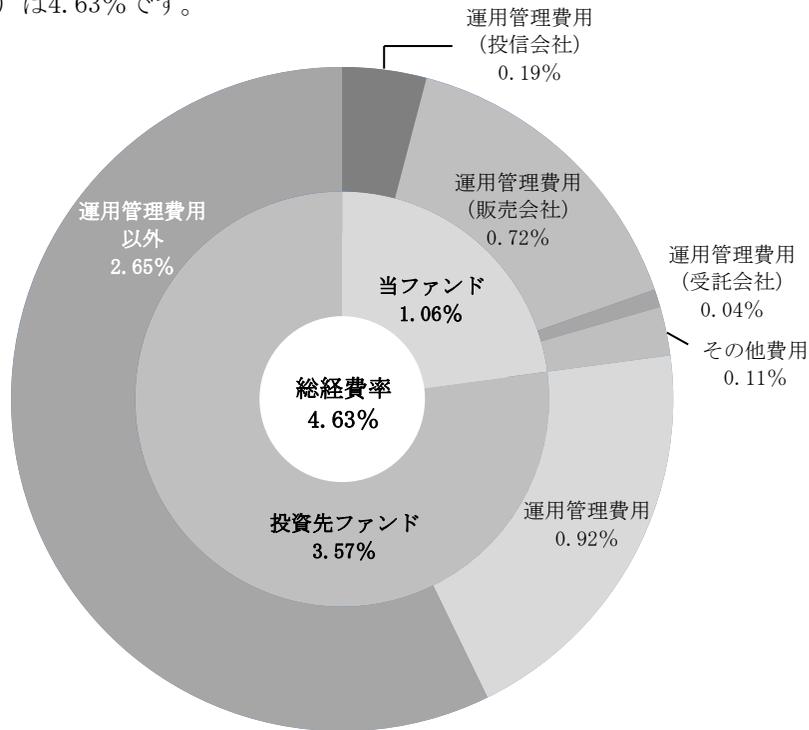
(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。（親投資信託を除く）

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.63%です。



総経費率 (①+②+③)	4.63%
①当ファンドの費用の比率	1.06%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.92%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	2.65%

- (注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
 (注) 各比率は、年率換算した値です。
 (注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
 (注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
 (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 売買および取引の状況 (2023年11月11日から2024年11月11日まで)

投資証券

銘柄名	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 0.133	千円 1,508	千口 0.6	千円 6,172

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2023年11月11日から2024年11月11日まで)

該当事項はありません。

■ 主要な売買銘柄 (2023年11月11日から2024年11月11日まで)

投資証券

買 付			売 付		
銘柄	口 数	金 額	銘柄	口 数	金 額
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 0.133	千円 1,508	SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 0.6	千円 6,172

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年11月11日から2024年11月11日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

種 類	当 作 成 期		
	買 付 額	売 付 額	当作成期末保有額
投 資 証 券	百万円 1	百万円 6	百万円 46

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

(注3) 当ファンドが主要な投資対象としている「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」は弊社
の関係会社であるSPARX Asia Capital Management Limitedが運用を行っております。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2023年11月11日から2024年11月11日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との
当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2023年11月11日から2024年11月11日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2024年11月11日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		前 期 末	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド		千口 4	千口 3	千円 46,984	% 92.7
合 計	口 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	4 —	3 —	46,984 1銘柄	— <92.7%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
スパークス・マネー・マザーファンド	千口 10	千口 10	千円 10

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当該マザーファンドの当期末の受益権総口数は、9,974千口です。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2024年11月11日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2024年11月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 46,984	% 92.1
スパークス・マネー・マザーファンド	10	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,030	7.9
投 資 信 託 財 産 総 額	51,024	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年11月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	51,024,515 円
コール・ローン等	4,028,848
スパークス・マネー・マザーファンド(評価額)	10,705
投資証券(評価額)	46,984,950
未 収 利 息	12
(B) 負 債	317,150
未 払 解 約 金	62,011
未 払 信 託 報 酬	228,470
そ の 他 未 払 費 用	26,669
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	50,707,365
元 本	12,459,050
次 期 繰 越 損 益 金	38,248,315
(D) 受 益 権 総 口 数	12,459,050 口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	40,699 円

■ 損益の状況

当期 (自2023年11月11日 至2024年11月11日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,382,619 円
受 取 配 当 金	1,382,760
受 取 利 息	1,345
支 払 利 息	△ 1,486
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	5,059,950
売 買 益	5,916,707
売 買 損	△ 856,757
(C) 信 託 報 酬 等	△ 489,947
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	5,952,622
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	3,725,758
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	28,569,935
(配 当 等 相 当 額)	(27,229,984)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,339,951)
(G) 合 計 (D + E + F)	38,248,315
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	38,248,315
追 加 信 託 差 損 益 金	28,569,935
(配 当 等 相 当 額)	(27,229,984)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,339,951)
分 配 準 備 積 立 金	9,678,380
繰 越 損 益 金	0

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

①期首元本額	12,762,316 円
期中追加設定元本額	3,817,125 円
期中一部解約元本額	4,120,391 円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目		第 16 期
費用控除後の配当等収益額	A	1,277,476円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	4,260,814円
収益調整金額	C	28,569,935円
分配準備積立金額	D	4,140,090円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	38,248,315円
当ファンドの期末残存口数	F	12,459,050口
1 万 口 当 た り 収 益 分 配 対 象 額 (G=E/F×10,000)	G	30,699.22円
1 万 口 当 た り 分 配 金 額	H	—円
収益分配金金額 (I=F×H/10,000)	I	—円

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	一円
----------------	----

■ お知らせ

該当事項はありません。

ご参考として以下に、スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)が組入れている各投資対象ファンドの運用内容を掲載いたします。

<参考情報>

SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド

SPARX ASIA MIDDLE EAST EQUITY INCOME FUND

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

設 定 形 態	ケイマン籍証券投資法人／オープン・エンド型
基 準 通 貨	日本円
運 用 方 針	アジア中東地域の株式ならびにそれらの株式に関連する証券等を主要な投資対象として、長期的なインカムゲインおよびキャピタル・ゲインの獲得を目指します。
主 な 投 資 制 限	一発行体への投資は純資産総額の10%以内。 流動性の低い株式関連証券等への投資は純資産総額の15%以内。 発行済株式に対する投資比率は50%以内。
決 算 日	12月末日
分 配 方 針	毎年、2月、4月、6月、8月、10月、12月の各末日に、インカム・ゲインならびにキャピタルゲインを原資として分配する方針としています。
管 理 運 用 会 社	SPARX Asia Capital Management Limited
投 資 運 用 会 社	SPARX Asia Investment Advisors Limited
受 託 会 社	HSBC Trustee (Cayman) Limited
受 託 会 社 代 理 人	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited
保 管 会 社	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited

(注) 記載内容、数値等は、当報告書作成日現在知りうる情報に基づき作成しております。

■ 組入資産の明細 (2024年11月8日現在)

外国株式等

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(アラブ首長国連邦市場)		百株	千UAEディルハム	千円		
First Abu Dhabi Bank PJSC		718	955	39,625	投資銀行・ブローカー	
小計	株数・金額	718	955	39,625		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 2.1%>		
(オーストラリア市場)		百株	千豪ドル	千円		
Aristocrat Leisure Ltd		52	336	34,054	カジノ・ギャンブル	
CSL Ltd		18	508	51,404	バイオテクノロジー	
Transurban Group Unit		522	668	67,590	その他輸送	
Treasury Wine Estates Ltd		194	223	22,545	アルコール飲料	
小計	株数・金額	786	1,735	175,593		
	銘柄数<比率>	4銘柄	—	< 9.4%>		
(中国市場)		百株	千人民元	千円		
Kweichow Moutai Co Ltd A Shrs		6	966	20,541	アルコール飲料	
小計	株数・金額	6	966	20,541		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 1.1%>		
(香港市場)		百株	千香港ドル	千円		
AIA Group Ltd		874	5,414	106,110	総合保険	
Alibaba Group Holding Ltd (HKSE)		131	1,231	24,133	インターネット販売	
Budweiser Brewing Co APAC Ltd		970	840	16,462	アルコール飲料	
China State Construction International Holdings Ltd (HKSE)		4,643	5,292	103,719	建設・土木	
First Pacific Co Ltd		7,180	3,166	62,053	食品総合	
HSBC Holdings Plc (HKSE)		360	2,570	50,374	主要銀行	
Haier Smart Home Co Ltd H Shrs		888	2,482	48,640	電化製品	
Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd (HKSE)		78	2,647	51,881	投資銀行・ブローカー	
Shenzhou International Group Holdings Ltd		186	1,125	22,053	衣料・履物	
Techtronic Industries Co Ltd		140	1,534	30,071	電動工具製品	
Tencent Holdings Ltd		108	4,545	89,064	パッケージ・ソフトウェア	
小計	株数・金額	15,558	30,849	604,561		
	銘柄数<比率>	11銘柄	—	< 32.4%>		

スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(インドネシア市場)		百株	千インドネシアルピア	千円		
Bank Central Asia Tbk (DMT)		4,380	4,412,850	42,902	主要銀行	
Telkom Indonesia Persero Tbk PT		11,839	3,255,725	31,652	無線通信	
小計	株数・金額	16,219	7,668,575	74,554		
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 4.0% >		
(インド市場)		百株	千インドルピー	千円		
Bharti Airtel Ltd		15	1,749	3,158	主要通信	
Bharti Airtel Ltd (NSI)		210	33,039	59,652	主要通信	
HDFC Bank Ltd (NSI)		112	19,599	35,386	主要銀行	
ICICI Lombard General Insurance Co Ltd		119	22,691	40,968	特殊保険	
Lemon Tree Hotels Ltd		2,368	28,808	52,014	ホテル・リゾート関連	
SBI Cards & Payment Services Ltd (NSI)		327	22,886	41,322	主要銀行	
小計	株数・金額	3,152	128,772	232,500		
	銘柄数<比率>	6銘柄	—	< 12.5% >		
(韓国市場)		百株	千韓国ウォン	千円		
Samsung Electronics Co Ltd		76	434,625	47,667	通信機器	
小計	株数・金額	76	434,625	47,667		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 2.6% >		
(マレーシア市場)		百株	千マレーシアリングgit	千円		
Genting Malaysia		3,920	874	30,384	ホテル・リゾート関連	
小計	株数・金額	3,920	874	30,384		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 1.6% >		
(サウジアラビア市場)		百株	千サウジアラビアリアル	千円		
Saudi Awwal Bank		110	379	15,369	地方銀行	
小計	株数・金額	110	379	15,369		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 0.8% >		
(タイ市場)		百株	千タイバーツ	千円		
Advanced Info Service Pcl NVDR		510	14,433	64,424	無線通信	
小計	株数・金額	510	14,433	64,424		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 3.5% >		

スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(台湾市場)		百株	千台湾ドル	千円		
	91APP Inc	380	3,572	16,931	パッケージ・ソフトウェア	
	Ememory Technology Inc	100	35,050	166,139	半導体	
	MediaTek Inc	190	24,320	115,278	半導体	
	Poya International Co Ltd	102	4,951	23,470	専門小売	
	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	300	32,700	154,999	半導体	
小計	株数・金額	1,072	100,593	476,817		
	銘柄数<比率>	5銘柄	—	<25.6%>		
合計	株数・金額	42,126	—	1,782,036		
	銘柄数<比率>	34銘柄	—	<95.6%>		

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。

(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

■ 損益計算書

損 益 計 算 書

自 2023年11月10日
至 2024年11月 8日

(単位：千円)

収益		
受取配当金		54,570
受取利息		929
解約差益		0
その他収益		0
	収益計	<u>55,499</u>
費用		
支払利息		0
受託会社報酬		37,799
監査報酬		6,112
源泉税		18,120
管理運営会社報酬		17,517
管理事務報酬		4,362
設立費償却		0
その他費用		7,835
	費用計	<u>91,747</u>
純投資損益		<u>△36,248</u>
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる実現損益		
投資有価証券売買損益		161,614
為替差損益		5,050
		<u>166,665</u>
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる未実現損益増減		
有価証券未実現純評価損益増減		178,759
為替未実現純評価損益増減		△4,434
		<u>174,324</u>
営業活動による純資産の純増減額		<u>304,741</u>

(注1) 上記の損益計算書は、管理運営会社が提供した純資産計算書の情報に基づき、弊社が作成したものです。

(注2) 管理運営会社が提供した純資産計算書は、外部監査人による監査を受けておりません。

スパークス・マネー・マザーファンド

第 17 期

決算日 2024年11月11日

(計算期間：2023年11月11日～2024年11月11日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。主として、わが国の公社債に投資を行い利息等収益の確保を図ります。
主な組入制限	①株式(新株予約権証券を含みます。)への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額5%以内とします。
分配方針	収益分配は行いません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

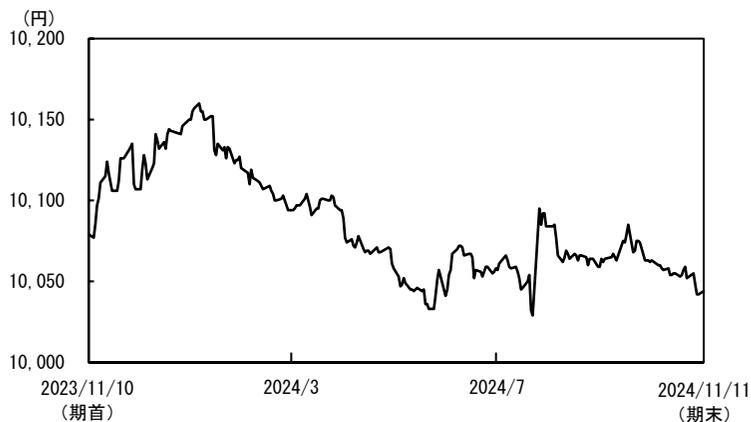
決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
13期(2020年11月10日)	10,234	△0.7	99.0	10
14期(2021年11月10日)	10,227	△0.1	98.8	10
15期(2022年11月10日)	10,152	△0.7	98.7	10
16期(2023年11月10日)	10,079	△0.7	98.7	10
17期(2024年11月11日)	10,044	△0.3	98.8	10

■ 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2023年11月10日	10,079	—	98.7
11月末	10,126	0.5	98.7
12月末	10,143	0.6	98.7
2024年1月末	10,126	0.5	98.7
2月末	10,100	0.2	98.7
3月末	10,101	0.2	98.7
4月末	10,071	△0.1	98.7
5月末	10,033	△0.5	98.7
6月末	10,057	△0.2	98.7
7月末	10,032	△0.5	98.6
8月末	10,066	△0.1	98.6
9月末	10,068	△0.1	98.6
10月末	10,059	△0.2	98.8
(期末)			
2024年11月11日	10,044	△0.3	98.8

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額の推移



■ 運用経過

当マザーファンドは、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ **期中の売買及び取引の状況**（2023年11月11日から2024年11月11日まで）

該当事項はありません。

■ **利害関係人との取引状況等**（2023年11月11日から2024年11月11日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定する利害関係人です。

■ **信託財産と委託会社との間の取引の状況**（2023年11月11日から2024年11月11日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ **委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況**（2023年11月11日から2024年11月11日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2024年11月11日現在)

下記は、スパークス・マネー・マザーファンド全体(9,974千口)の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	額面金額	評 価 額	組入比率	当 期 末			
				組 入 比 率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					(5年以上)	(2年以上)	(2年未満)
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	10,000	9,899	98.8	—	—	98.8	—
合 計	10,000	9,899	98.8	—	—	98.8	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 単位未満は切り捨て。一印は組み入れなし。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第347回長期国債10年	0.1	10,000	9,899	2027/6/20
合 計		—	10,000	9,899	—

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2024年11月11日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2024年11月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	9,899	98.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	119	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	10,018	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年11月11日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	10,018,857 円
コール・ローン等	115,269
公社債（評価額）	9,899,700
未 収 利 息	3,888
(B)負 債	—
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	10,018,857
元 本	9,974,992
次 期 繰 越 損 益 金	43,865
(D)受 益 権 総 口 数	9,974,992 口
1 万口当たり基準価額 (C/D)	10,044 円

■ 損益の状況

当期（自2023年11月11日 至2024年11月11日）

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	10,022 円
受 取 利 息	10,042
支 払 利 息	△ 20
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 45,000
売 買 損	△ 45,000
(C)当 期 損 益 金 (A+B)	△ 34,978
(D)前 期 繰 越 損 益 金	78,945
(E)解 約 差 損 益 金	△ 102
(F)合 計 (C+D+E)	43,865
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	43,865

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

- 期首元本額 9,994,224 円
 期中追加設定元本額 — 円
 期中一部解約元本額 19,232 円
- 期末元本の内訳
 スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型） 9,964,333 円
 スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型） 10,659 円

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

■ お知らせ

該当事項はありません。